

本時案（第1時）

<p>目 標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もとの大きさの$\frac{1}{2}$について理解し、自分の言葉や折り紙で表現できる。 ・友達の言葉や操作から、考えを読み取る（聴き取る）ことができる。
<p>学習活動</p>	<p>教師の支援</p>
<p>1. めあてをつかむ。 「もようくじ引きをしよう」</p> <div data-bbox="231 421 1332 622" style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> </div> <div data-bbox="406 645 1157 705" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どんな形が 当たりなのかな？</p> </div> <p>「当たりが出るかな？」</p> <p>2. どんな形が「当たり」なのか考える。 「どんなもようが当たりかな？」</p> <p>「半分半分になっているものが当たりなんだね」</p> <p>3. $\frac{1}{2}$の意味と表し方を知る。</p> <p>「もとの大きさを同じ大きさに2つに分けたうちの1つ分を2分の1と言うんだね」</p> <p>4. 他の形について考え、次時の見通しをもつ。</p> <div data-bbox="199 1556 702 1702" style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「もようくじ引き」のルールを丁寧に説明する。四角形の中に形（模様）ができていることを知らせる。 ・くじを引く度に「当たり」と「はずれ」の形を分類して掲示していく。そうすることにより、どんな形（模様）が「当たり」になるかを考えることができるようにする。 ・どんな形が当たりなのかを、ペアや全体で話し合い、児童が話した言葉を板書に残す。そうすることで、友達の考えを理解したり、自分の考えを深めたりしやすくする。 ・⑤や⑦のような形は、もとの大きさの半分になっていることを、切ったり直線を入れたりして確かめることができるようにする。⑤については、くじと同じもの（折り紙）を全員分用意し、全員で確かめる。 ・もとの大きさを同じ大きさに2つに分けた1つ分を「2分の1」と表し、「$\frac{1}{2}$」と書くことを知らせる。 ・「当たり」は、もとの四角形の大きさの$\frac{1}{2}$であることを確かめる。 ・いろいろな形（模様）の中から、もとの大きさの$\frac{1}{2}$になっている形を見分ける活動をする。そうすることで、$\frac{1}{2}$についての理解を確かなものにする。 ・もとの形が四角形でないものも混ぜておき、次時につなげる。
<p>評 価</p>	<p>いろいろな形の中から、もとの大きさの$\frac{1}{2}$のものを正しく指摘することができたか。</p>